Q では、皆さんや皆さんの家族、 学校の先生はこれから何を したらよいのだろう??



~子どもに期待されること~

- 1 「女の子」、「男の子」という理由だけで その人の役割を決めるのは止めよう!
- 2 一人ひとりを大切にしながら、自分の力や特長を生かしていこう!
- 3 自分で考えて家庭・学校・地域 活動に参画し、それぞれの役割 を担って活躍しよう!



〜保護者や地域の人々 学校の先生の役割〜





保護者や地域の人々、学校の先生は、「男女平等参画の考え方」をよく 理解して、皆さんに教えていく役割 があります。

男女平等参画のことで、 困ったことやわからないことがあったら、学校の先生や 女性センターに聞いてください。 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」を 学んでみて、自分の家族、周りの大人が男女 平等参画の考え方に基づく行動などを行って いるか、また、これから家庭、学校、地域 などがどうなればいいと思うか自分の考え を書いてみましょう。

_
_
_
_
_
_

多摩市立TAMA女性センター

男女平等参画を進めるため、講座の開催や情報の収集・提供、本の貸し出し、相談の受け付けなどを行っています。

聖蹟桜ヶ丘駅の前に女性センターがあります。

* * * * * * * * *

住所・電話・FAX

〒206-0011 多摩市関戸 4-72 ヴィータ・コミューネ7階

TEL 042-355-2110 FAX 042-339-0491



多摩市女と男の 平等参画を推進する条例

~みんなが住みやすく 暮らしやすいまち をめざして~



条例解説(子ども版)

 多摩市立
 学校
 年
 組

 名前

多摩市

Q 「条例」って何?

「条例」は、市の議会などで作られた「決まり」のこと で、法律と同じ意味です。

市役所、市民、会社がやらなければならないこと(役割)、 やってはいけないことなどが書かれてあります。

Q 「男女平等参画を推進する」とは どういうこと?

これには2つの意味があります。

1つ目は男女が「平等」な社会を目指すという意味です。 2つ目は男女が平等な社会の中で、家庭、学校、会社、 地域での活動など、皆さんが色々な所で活躍できる(=「参 画できる」) 社会を目指すという意味です。「参加」という 言葉に似ていますが、ひとつの事業を進めていく上で、計 画の段階から関わっていることを「参画」という言葉で表 しています。

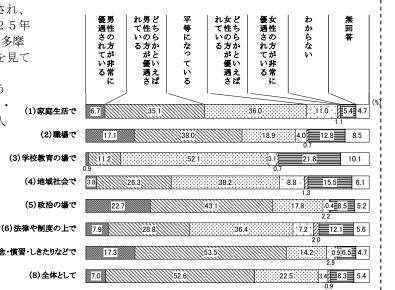
どうして条例(決まり)が必要なの?

「日本国憲法」には、女性も男性も人間として尊重され、 みんな平等であると書かれています。右の図は、平成25年 3月に報告された、「男女平等・男女共同参画に関する多摩 市民意識及び実態調査報告書2013」ですが、これを見て 皆さんはどう思いますか?

「(3)学校教育の場で」は、平等になっていると思う 人が多くいますが、 $\lceil (5)$ 政治の場で \rceil 、 $\lceil (7)$ 社会通念・ 慣習・しきたりなどで」は、男性の方が有利だと思う人 が多くいます。

これらの理由は、社会では今もなお「女の子だから 料理をやるべき」、「学級委員として人をまとめるのは 男の子がいい」など、性別によって役割を決めようと 考える人がいるからです。これでは料理をやりたい男 の子、学級委員でクラスをまとめたい女の子は活躍す る機会が失われてしまうかもしれません。

このように、いまだに男女平等参画が進ま (7)社会通念・慣習・しきたりなどで ないことから、多摩市では、みんなで一緒に 取り組むため「条例」を作りました。



~条例で決められている6つの考え方~

① 一人ひとりを大切にしよう! 女の子も男の子も一人ひとりが大切に され、自分が持っている力や特長を生 かして、自己実現ができる社会を目指 しましょう!



② 性別で役割を決めることはやめよう! 「女の子だからお茶を入れる」、「男の子だから力仕

🔉 事をする」 など、 性別を理由に自分の役割を決めら れることはありません。

自分がやりたいこと、将来やってみたい仕事など は、性別にかかわらず自分の意思で選び、その実現 に向けて努力することが大切です。

4 差別や暴力はやめよう! 男女の違いを理由に差別したり、

暴力を振るったりしてはいけません。 皆さんの周りには、体は男の子であっても心は女 の子でありたいと思う人など、様々な人たちが一 緒に暮らしています。物の感じ方や価値観が自分 と異なることを理由に人を差別することは決し てあってはならないことです。

⑤ みんなで協力していこう!

家族の中で、誰か 1 人だけが家事、仕事、地域の 活動などをしているという状況はありませんか? 家庭での役割も家族の中で話し合い、 みんなで協力することが大切です。 また、市役所や会社、地域の人たち の協力も必要です。

③ みんなが「参画」して進めていこう! 家庭でも学校でも地域でも、重要なことを決める 場合、女の子の意見、男の子の意見、障がいのあ る人の意見、お年寄りの意見、外国人の意見など、 色々な立場の人が意見を出し合って進めていくこ とが大切です。

特に、地震などの災害が起こっても困らないよう g にするためには、 日ごろからみんなで話し合って 災害に備えた準備をしていくことが大切です。

困っている人をみんなで助けよう!

一人暮らしのお年寄り、仕事をしながら介護をし ている人、慣れない日本で暮らす外国人など、 暮らしに困っている人がいます。困って いる人がいたら、話を聞いて、みんなで 助けてあげることが必要です。



